

氏名	平 田 潤一郎
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 800 号
学位授与の日付	昭和 51 年 9 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	低級脂酸 <b>Gamma-Hydroxybutyrate (GHB)</b> による臨床脳波賦活法
論文審査委員	教授 高坂 睦年    教授 森    昭胤    教授 西本    詮

### 学位論文内容の要旨

低級脂酸の一つである GHB の脳波に与える影響について健康成人 100 名に試用, 検討し, 誘発された各種の徐波成分を詳述し, その結果をもとに各種の脳障害患者の脳波検査に際して本薬剤を賦活薬として応用した。

障害部位の判明した脳腫瘍 25 例, 脳血管障害 25 例と, その他の種々の脳障害 29 例についての結果は以下のごとくである。賦活前, 正常範囲内の所見を示していながら GHB で明瞭な異常波の出現したもの 14 例 (17.8%), 境界線上であったものが GHB で明確な異常所見を示したもの 22 例 (26.6%), 軽微ないし中等度の異常所見を示していたものが, GHB で増強されたもの 21 例 (26.6%), 賦活効果のないもの 22 例 (27.8%) であった。病変局在部位別にみた賦活効果は, 半球性障害で最も高く, 深在性, 天幕下性のものではやや低かった。

てんかん 108 例の賦活効果をみると, GHB 賦活ではじめててんかん性異常波の現われたもの 21 例 (19.4%), 賦活前にみられていた発作波が増強されたもの 17 例 (15.7%) であり, とくに精神運動発作てんかんでの賦活効果が高かった。

副作用は軽微で一過性であり, 約 65% の症例では何らの自覚症状もなく, 安全で有用な脳波賦活薬剤であると考えた。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は脳腫瘍, 脳血管障害, てんかん等に対する Gamma-Hydroxybutyrate (GHB) の脳波賦活効果を観察し, 他の賦活方法と比べて副作用少く, 異常脳波発現に効果あり, 臨床的に充分応用し得ることを実証したもので, 価値ある業績であると認める。

よって, 本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。